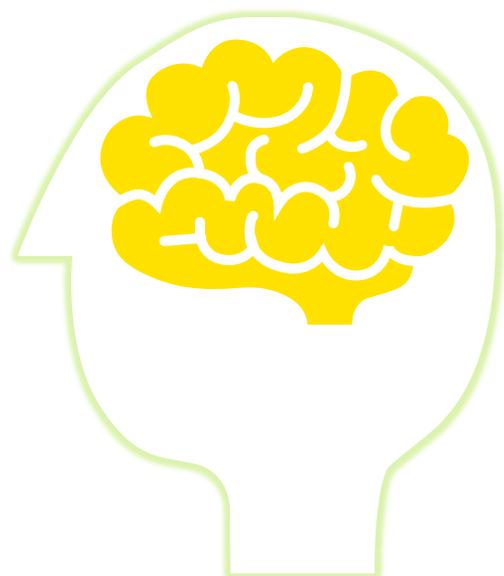


脳PRO

第4回 脳プロ公開シンポジウム
健やかな脳を保つために
～最新の脳科学研究からわかったこと～

アンケート調査報告書



主催：文部科学省脳科学研究戦略推進プログラム

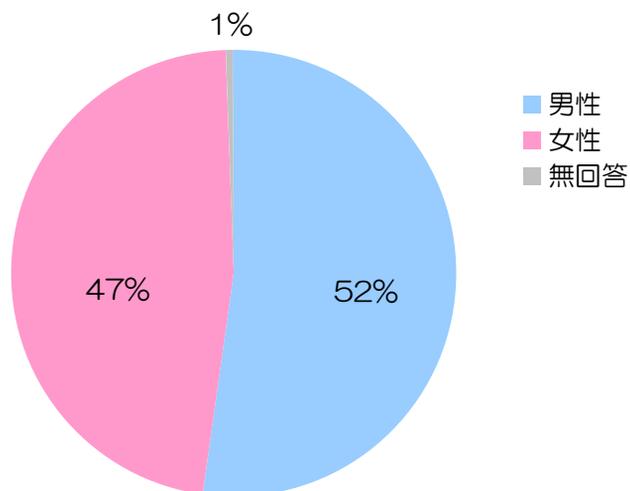
【調査目的】

文部科学省「脳科学研究戦略推進プログラム」第4回公開シンポジウム『健やかな脳を保つために～最新の脳科学研究からわかったこと』に対する参加者の印象や評価を調査し、今後のシンポジウム・アウトリーチイベント開催の参考とするため。

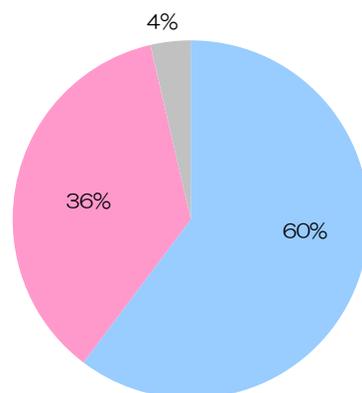
【アンケート対象者】

シンポジウム参加者371名にアンケートを配布。うち307名から回答を得た。

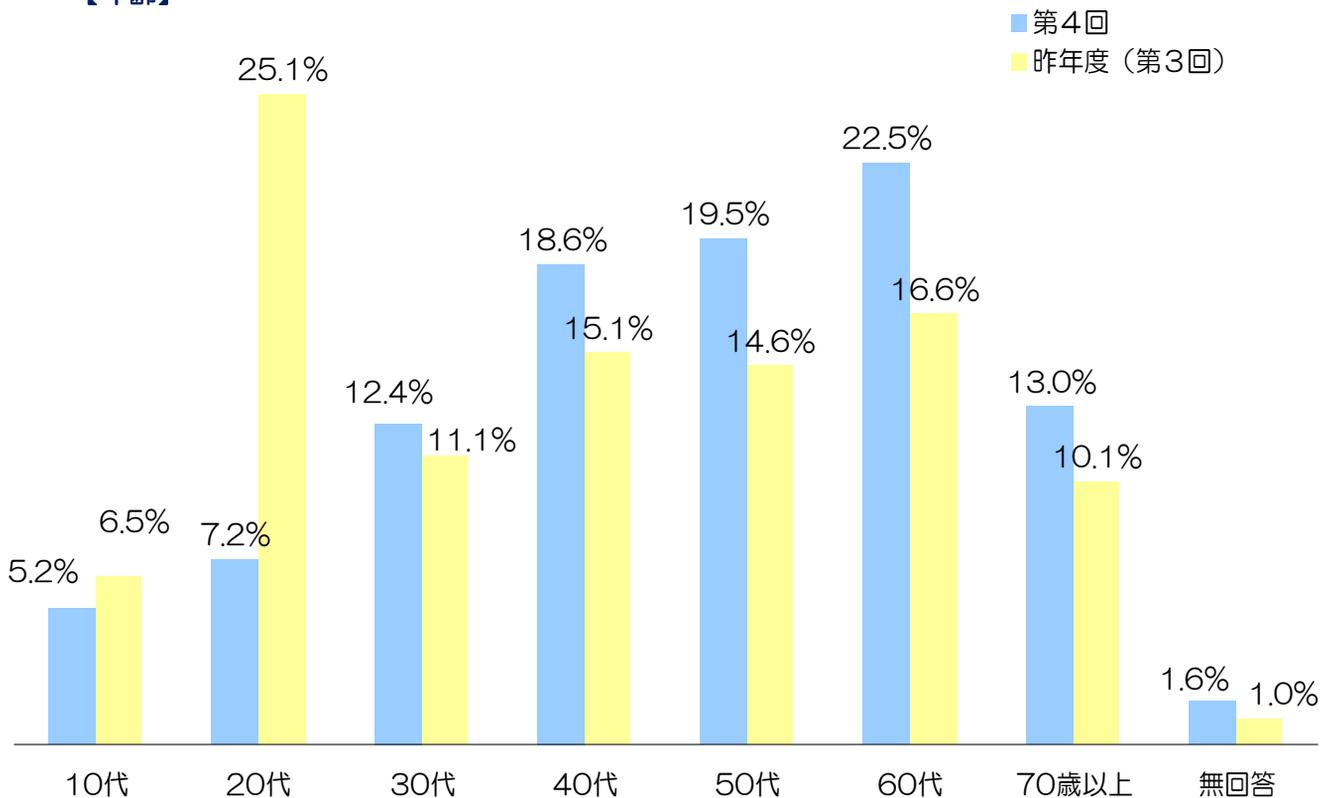
(回収率82.7%)



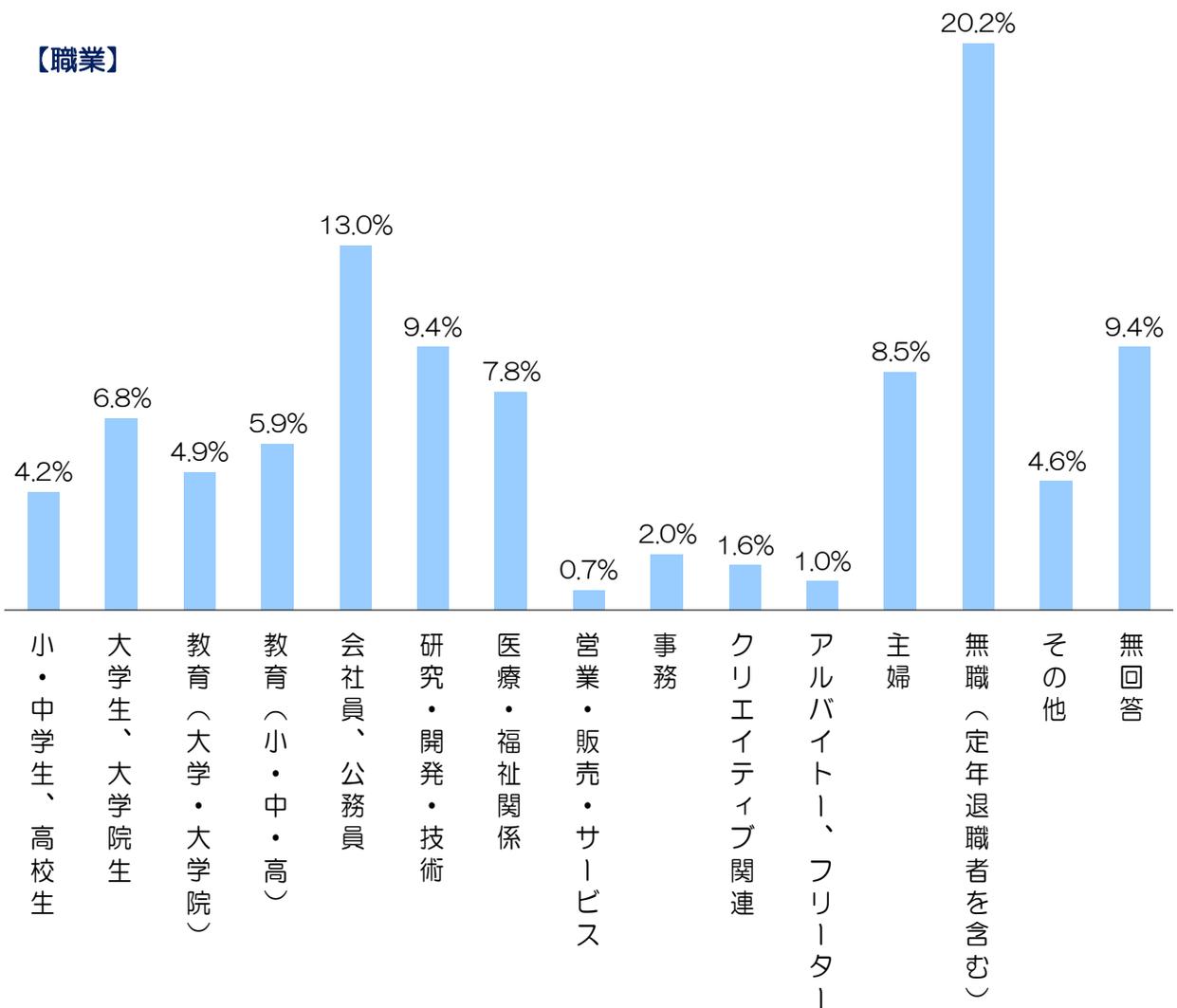
昨年度（第3回）



【年齢】



【職業】



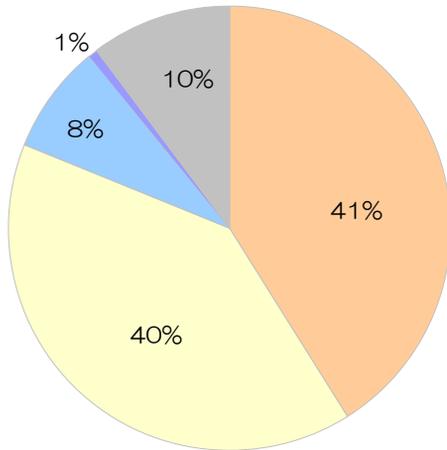
各項目内訳

小・中学生、高校生	高校生（6）
大学生、大学院生	生物（3）、教育（3）、特別支援教育（2）、神経発生、化学、獣医、環境薬学、心理、栄養学
教育（大学・大学院）	医学保健、大学コーディネーター、生化学、分子医学、人間社会学部、ビジネス、心理学
教育（小・中・高）	高校（9）、特別支援学校
研究・開発・技術	心理学、脳科学、化学、毒性、電子機器、薬理、診断薬開発、分子生物、バイオサイエンス、電気工学
医療・福祉関係	障害児童（3）、精神科医（2）、管理栄養士（2）、高齢者介護（2）、看護師（2）、訪問介護・介護福祉士（2）、コメディカル、麻酔科、介護、臨床心理士、歯科医師、精神保健福祉士、ソーシャルワーカー、NPO
クリエイティブ	関連編集者（2）、デザイン、音楽ソフト制作
その他	自営業（3）、保育士、医学部受験学習塾経営、嘱託、パート、起業企画中

【アンケート結果】

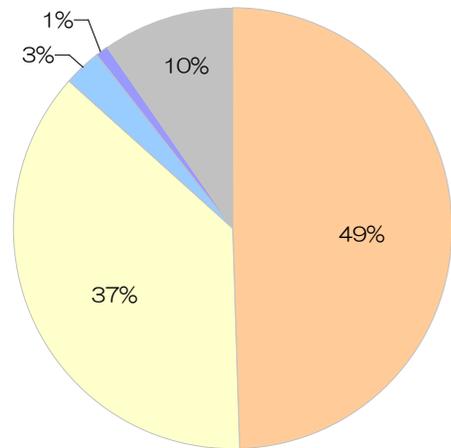
1. 講演の内容について

a. 分かりやすかったですか？



- 分かりやすい
- どちらかといえば分かりやすい
- どちらかといえば分かりにくい
- 分かりにくい
- 無回答

b. 面白かったですか？



- 面白い
- どちらかといえば面白い
- どちらかといえば面白くない
- 面白くない
- 無回答

c. 特に印象に残った講演がございましたら、教えてください。（括弧内は、意見件数）

【全体】

- 全て興味深い講演で、参考になった。（4）
- 講演時間が短い。もっと詳しく聞きたかった。（2）

【基調講演】

- 基調講演で全体像・アプローチの概要が良く理解でき、以降の講演が聴きやすかった。（2）
- 明快で、とてもわかりやすかった。（2）

【講演1】

- 研究が進み、発達障害が何らかの形で治療・症状改善できることを期待します。（2）
- 不安を感じるメカニズムや対人関係・環境が脳に影響を及ぼすことなど、興味を持った。（2）

【講演2】

- 分子メカニズムの説明がわかりやすく、興味深かった。（3）
- 統合失調症の実体とその疾病の病理、発症メカニズムについての概要やどのように治療していくのかというこれからビジョンを知ることができた。（2）

【講演3】

- うつ病と食生活（地中海料理・緑茶等）・栄養の関係は興味深かったです。（5）
- BDNF 動画はなかなか見られないので、興味深かった。（3）

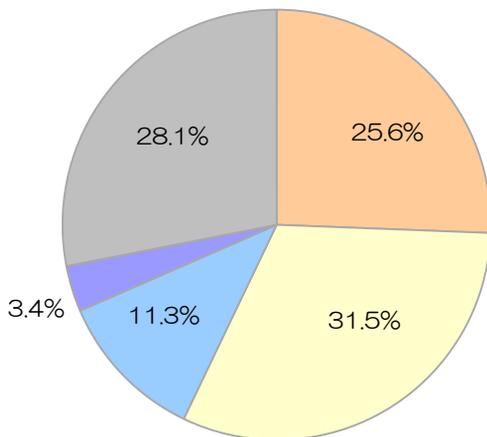
【講演4】

- 食生活の重要性が印象に残った。（3）
- 認知症のことが今までより理解できました。（2）

※その他回答は、項目9を参照。

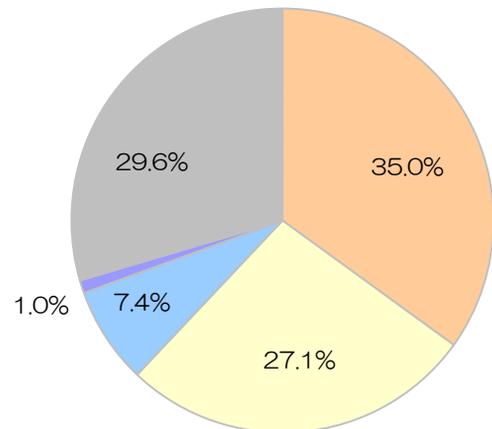
2. 体験展示の内容について

a. 分かりやすかったですか？



- 分かりやすい
- どちらかといえば分かりやすい
- どちらかといえば分かりにくい
- 分かりにくい
- 無回答

b. 面白かったですか？



- 面白い
- どちらかといえば面白い
- どちらかといえば面白くない
- 面白くない
- 無回答

c. 特に印象に残った展示がございましたら、教えてください。

【展示全体】

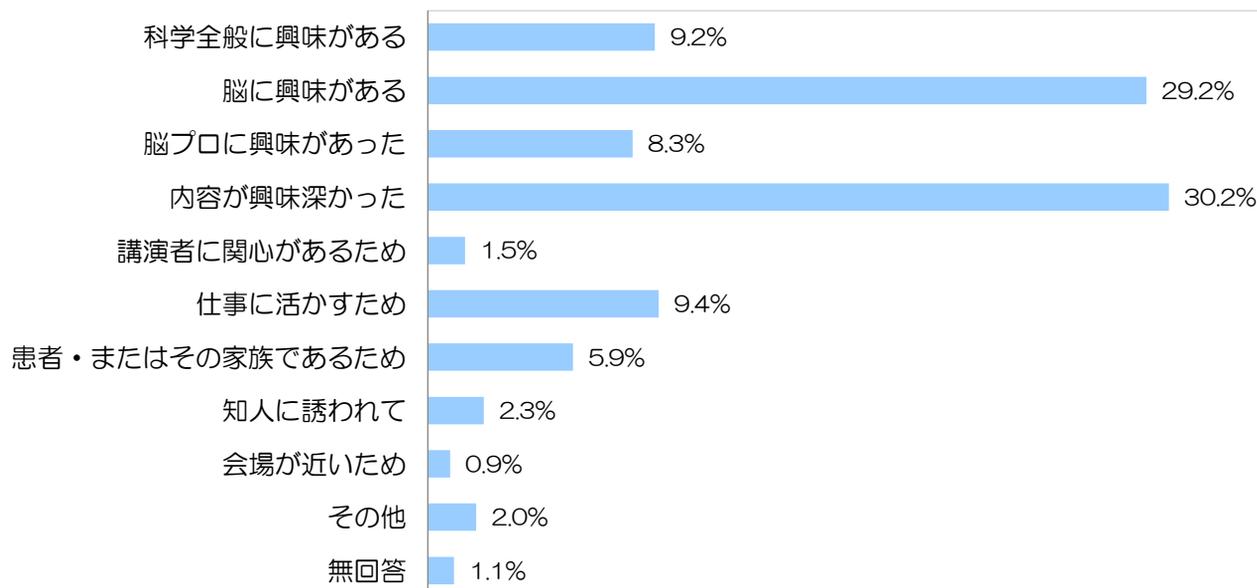
- 粒揃いでよかったですと思います。楽しくお話と質問できました。
- もう少し分かりやすい内容だと良かった。

【各展示】

- 展示1：朗報でした。患者の生きる希望に大きく役立っていると感じました。開発がさらに続きますよう祈ります。
- 展示2：網膜剥離の患者として、失明者への網膜移植までの前段階として、字が読める程度まで開発のレベルを上げて欲しい。
- 展示3：脳を1細胞単位で測定できるテクノロジーには驚かされました。
- 展示4：せっかち度チェックは、今まで聞いたこともなかったので興味深かったです。
- 展示5：脳を透明にして深部の蛍光部位が見えたのは新鮮でした。
- 展示6：覚醒睡眠のメカニズムを示す展示物は、目で見て理解できるのでありがたかったです。
- 展示7：実際の診断・治療に早く応用されることを期待します。
- 展示8：普及して、自閉症児の発見・治療が進むことを期待します。
- 展示9：アクチウォッチでどのような解析結果が出るのか、興味深かったです。
- 展示10：実際の診断・治療に早く応用されることを期待します。
- 展示11：BMIやロボットスーツの技術はここまで進んでいるのかと感動しました。
- 展示12：今の社会を大きく変えうる可能性がたくさん詰まっていて、その実現が希望になるのではと思いました。
- 高校生：ハイレベルの研究に驚愕しました。

※その他回答は、項目9を参照。

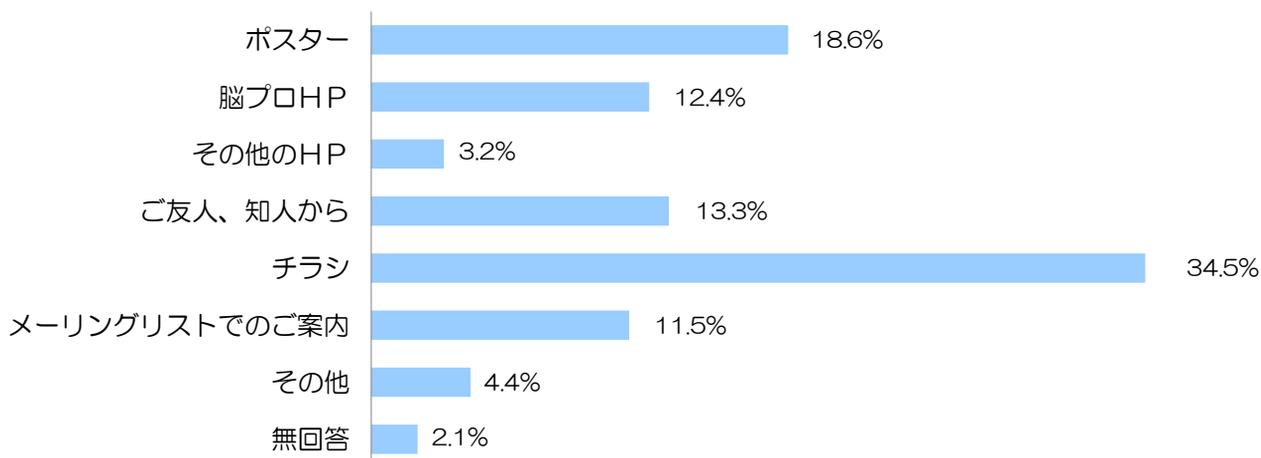
3. 本シンポジウムに参加された動機は？（複数回答可）



回答内訳

内容に関心があった	対人関係（15）、統合失調症（8）、うつ（16）、認知症（11）
講演者に関心があった	西川先生、功刀先生（2）、水澤先生
その他	学校の行事(委員会活動)（8）、先生の紹介（2）、脳プロ関係者（2）、ボランティア活動の一助にしたい、無料だったので、てんかん、プレゼンの勉強のため、治療・克服のため、科学者の言葉、自分が病気ではないかと思ったことがあるので

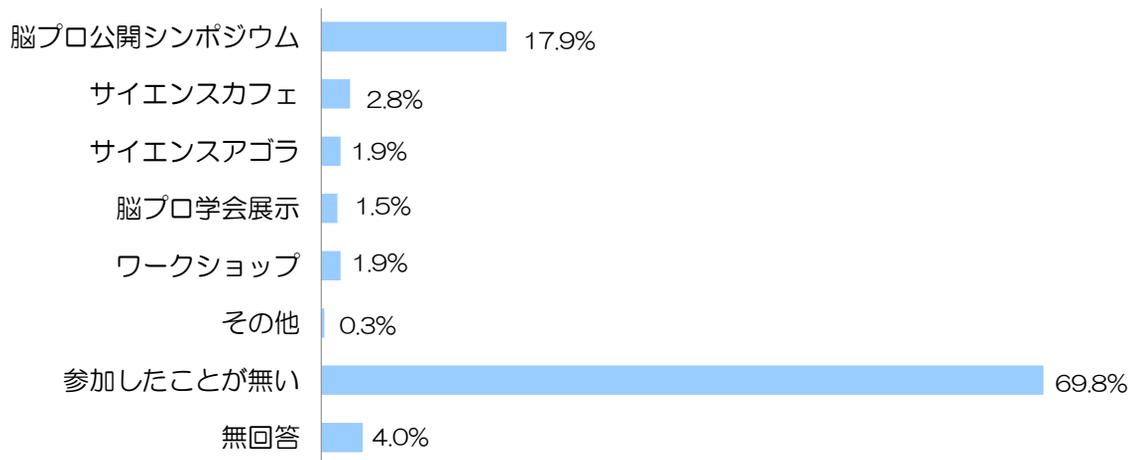
4. 本シンポジウムをどちらでお知りになりましたか？（複数回答可）



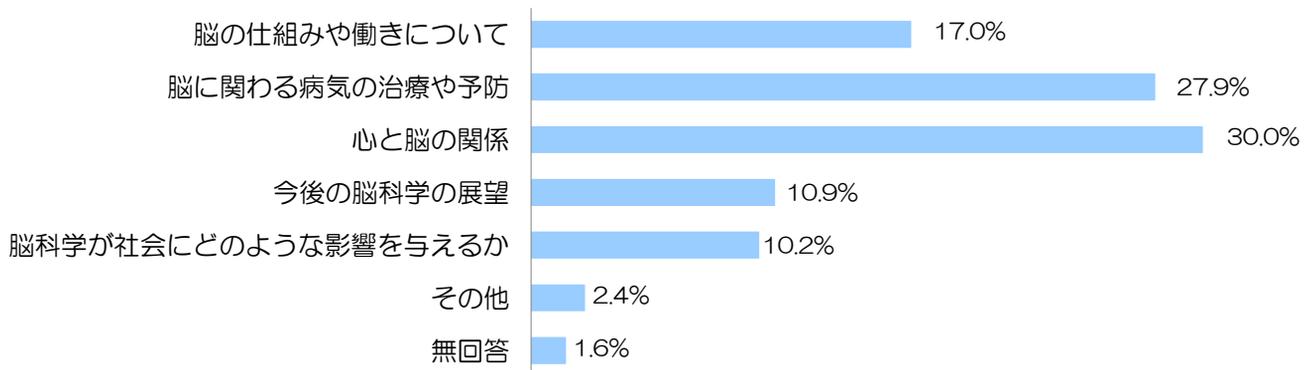
回答内訳

その他HP	サイエンスポータル（3）、文部科学省、日本学術会議、筋繊維痛症友の会、クリッピングニュース
その他	新聞広告（4）、学校（2）、職場への案内（2）、高校での紹介、研究室への案内、脳プロ内の案内

5. これまでに脳プロのイベントに参加されたことはありますか？（複数回答可）



6. 今後、どのような内容の講演を聞いてみたいですか。（複数回答可）



その他 回答内訳

- 脳のパフォーマンスを上げる方法
- 研究の応用と実践について
- 病気になる脳のしくみ
- 精神疾患について（3）
- 脳と教育
- 脳のジェンダーからの脳と教育
- うつ病などの実用的な予防法、実例の紹介
- うつと双極性障害について
- 日常生活に活かす脳科学（不安やストレスを軽減する方法）
- 脳トレーニング
- 神経再生、リハビリについて、脳血管障害について
- 認知症に関すること
- ストレスと海馬、強度のストレスと免疫力の関係
- 日常生活で気をつけることや予防、食生活、生活習慣
- 脳神経の再生や治療
- 診断について

7. 会場についてのご感想をお聞かせください。（自由記載、括弧内は意見件数）

【理由コメントのない評価】

- ・良い（49）
- ・普通（1）

【立地・交通アクセス】

- ・交通アクセスがよい、駅から近くてよい、場所がわかりやすい。（33）
- ・交通アクセスが不便、駅から遠い、場所がわかりにくい。（6）
- ・有楽町朝日ホールのほうがよい。（1）
- ・近隣に食事のできる場所が無い。（1）

【会場施設の雰囲気、環境】

- ・会場施設が立派、きれい、落ち着く、心地よい、雰囲気がよい。（26）
- ・会場が寒い。（9）
- ・会場が暗い、照明色が合わない。（3）
- ・BGMがリラックスできて良い。（2）
- ・BGMが落ち着かない。

【会場の設備】

- ・席に机があり、メモが取りやすくよかった。（12）
- ・机のため席への出入りがしにくい。席、椅子の間隔が狭い。（9）
- ・スクリーンが大きく見やすい。（5）
- ・スクリーンの画像がシャープでない、前の席では見上げるのが辛い。（3）
- ・マイクの音声聞き取りにくい。（2）
- ・トイレが少ない。（2）
- ・ロッカー、荷物を預けるコーナーがほしい。（2）
- ・マイクの音声の通りがよい。
- ・食べ物の販売を希望。
- ・西サイドの壁の出っ張りにぶつかり危険。暗いときは転倒してしまう。
- ・席のテーブルが破損していた。

【会場の広さ】

- ・適切な広さでよい。（10）
- ・会場が狭い。もっと参加定員の多い会場にするべき。（8）
- ・体験展示のスペース、間隔が狭い。（2）

【会場スタッフ】

- ・受付、案内、スタッフが良い。(3)
- ・講演中にスタッフの声が気になる。(2)
- ・入口から会場までの案内が分かりにくい。
- ・受付開始時に声を出して呼び込んでほしい。

【その他】

- ・参加者の咳、インフルエンザ感染が気になる。(2)
- ・高校生はもっと悪い席でよいのではないか。空席がもったいない。(2)
- ・遅れて入ってきた一般の人が、中央に近い高校生席に座るのはどう考えても不合理。
- ・講演中の他の参加者の途中入場が迷惑である。
- ・入場時間を5~10分繰り上げてほしい。

8. ポスターデザインについてのご感想をお聞かせください。

(自由記載、括弧内は意見件数)

【分かりやすさ、内容への興味】

- ・見やすい、内容、テーマに合っている。わかりやすい。(15)
- ・デザイン(言葉やイラスト)が、一般の人にも興味を持ちやすい。(7)
- ・内容、イメージが伝わりにくい。テーマに合わない。(4)
- ・文字が小さい。(3)

【全体のデザイン】

- ・淡くて柔らかい、優しい(20)
- ・脳科学の難しいイメージを出さず、親しみやすいデザインが良い。(10)
- ・シンプル、さっぱりして好感がもてる。(10)
- ・インパクトがあり、目立つ。(10)
- ・暖かいイメージでよい。(7)
- ・一般向け、高齢者向けのデザインで、専門知識が無くても参加しやすい。(5)
- ・インパクトが弱く、目立たない。(5)
- ・あざやか、明るい、ポップで良い。(5)
- ・配色がよい、見栄えがする、落ち着いたデザイン、よい等。(32)
- ・カッコよくない。デザインが悪い。(3)

9. 印象に残ったもの・ことを教えてください。（自由記載、括弧内は意見件数）

【配布資料について】

- ・説明が速くメモできないため、講演スライドの印刷やレジュメがほしい。（10）
- ・以前のシンポジウム報告書が配布されていてよかった。（2）
- ・うつや認知症などのチェックシートや予防法等、箇条書きにして配ってほしい。（2）
- ・文字が小さく見づらかった。
- ・レジュメに表やデータを入れないと画像だけではわかりにくい。後日、報告書として発行される企画もあるようだが、「時代はスピーディー」になっている。
- ・撮影されたビデオを、後日視聴したい。

【開催時間について】

- ・もっと詳しくゆっくり聞きたいので、講演時間を長くしてほしい。（9）
- ・もっと質疑応答の時間を多くしてほしい。（3）
- ・挨拶が長すぎたため、スケジュールに影響を与えたように思う。（2）
- ・今後は時間・進行に配慮いただきたい。

【講演全体について印象に残った／興味を持ったこと／意見など】

<講演内容について>

- ・脳の病気、精神疾患、認知症と、食事・運動など生活習慣との関係（24）
- ・脳科学研究のスピード（2）
- ・遺伝的要因と環境要因の相互作用（2）
- ・精神疾患の社会的・経済的損失（2）
- ・脳の損傷による障害の改善・再生の可能性
- ・精神疾患の客観的な診断法
- ・うつ病の患者数
- ・不登校・ひきこもり・いじめ・差別など社会問題への脳科学的アプローチ
- ・分子レベルのメカニズム解析、DNAマイクロアレイ
- ・介護との連携
- ・社会科学、食品、バイオ分野との連携
- ・記憶と側頭葉、海馬
- ・ストレスと海馬
- ・前頭葉と側頭葉
- ・ヘルペスとストレスの関係
- ・広汎性発達障害とうつ病、認知症、てんかんの関係

- ・神経栄養因子機能増強による脳の成長に、年齢は関係するのか？
- ・アイソトープによる検査は？
- ・認知症、精神病、高次脳機能障害の違い。

<講演全体・講演者・講演方法などについて>

- ・全て興味深い講演で、参考になった。(8)
- ・第一線の著名な研究者達が登壇するシンポジウムは、とても貴重で勉強になった。(3)
- ・次回も是非、参加したい。楽しみにしている。(2)
- ・今後も、この方向で、土日開催してほしい。(2)
- ・開催の頻度や参加人数を増やしてほしい。(2)
- ・脳科学の知識はほぼ皆無ながら参加し、何もかも驚きの連続だった。
- ・脳や精神疾患について勉強になった。
- ・脳の可能性について、とても興味を持つとともに感銘を受けた。
- ・私達の知らないところで色々な基礎研究がされ治療に生かされていることがわかった。
- ・心の研究、予防の大切さを感じた。
- ・様々な話を聞きとても勉強になり、自分達もポスター発表をしてよい経験になった。
- ・全体的に面白かった。脳と心の問題についての内容が特に印象に残った。
- ・脳に対する積極的な研究の努力に感銘を受けた。
- ・最新の事例を紹介していただけた点がよかった。
- ・最新の脳科学についてとてもわかりやすく、かつ面白く話を聞いた。
- ・ストラテジーを聞くことができてよかった。
- ・いかにして脳(心)の病気にアプローチし、完治を目指すのかイメージがつかめた。
- ・工学的立場とは違った立場から脳を考え、面白い話、発見に考えが得られてよかった。
- ・認知症やうつについて最新の研究をわかりやすく教えていただき、勉強になった。
- ・このような研究で疾患や障害が改善される道筋を作ってくれているのだと感じた。
- ・精神疾患が身近な内容に感じた。
- ・いずれの講演も最先端で興味深かった。特に認知症の話が印象に残った。
- ・関心のある疾患についての最新情報を得られ、よかった。
- ・各分野がかかわりあった研究だということが印象に残った。
- ・それぞれのテーマが少しずつでも理解できたのでよかった。
- ・具体的に精神疾患に触れてくれてよかった。
- ・様々な角度からの研究がされていることがわかり、参考になった。
- ・科学的な研究が今後どのように臨床に活かされていくか見守りたい。
- ・一般向けに大変平易にまとめられて、わかりやすくという心がけがよく伝わった。
- ・専門的にもかかわらず、一般参加者にも非常に理解しやすくわかりやすい講演だった。
- ・内容は高度なものであったが、全般やキーポイントを伝えており、かなり理解できた。

- どの先生も一般向けで理解しやすい講演で、具体的な予防方法の例示もよかった。
- わかりやすい表現でよかった。
- 全体的に大変面白かった。先生方の話し方がとても上手で、大変聞きやすかった。
- 最後の質疑の時間はとてもよかった。質問自体がそれぞれの問題性の中から出てきたもので、先生方の答えも大変丁寧でわかりやすかった。
- 話だけでなく、画面で説明しているのでわかりやすい。
- 講師の方全員、よかった。
- 全体的にわかりやすかった。土日で開催すると高校生でも来られ嬉しい。
- 各先生方は本当に話が上手だった。
- 全ての先生方が個性的でユニークでわかりやすく感じられた。
- わかりやすく、よく理解できた。
- 大変わかりやすく、よい知識を学ぶことができた。
- 日本の国力を感じた。研究を大いに継続し、よい成果を出せることを願う。
- 色々と学ぶことの多いシンポジウムであったと感じる。
- 精神・神経疾患がどんどんと解明され、それが大変求められていることを実感した。
- 今後の脳についての研究で、本当に日本の未来が大きく変化すると思った。
- 臨床においてきてほしい研究ばかりである。
- 身近な病気の研究が色々に行われていることがわかった。少しでも早く成果が出て、よい治療法が見つかることを願うばかり。
- 脳への先生方の熱意に感激し大きな期待を持った。広い内容が学べるチャンスを得た。
- 日本の脳科学研究を推進し、この分野で世界をリードして行ってほしい。
- 今後高齢化も進み、脳に関する研究がさらに進んでいくことは重要だと感じた。
- 文科省が医学の基礎研究に取り組んでいることは非常に評価できることだと思う。
- 新しい治療法への開発・治療法への取組み、大変印象に残るとともに期待している。
- 科学(医学)研究は着実に進歩していると実感し頼もしい。研究者に敬意を表す。
- 診断も症状からの診断であり、客観的な診断法が確立されていないため診断自体も難しいと思った。根治的な治療法の確立を願う。
- 教育分野で発達障害の子どもと関わる際に、脳科学が周知される必要性を感じた。
- 認知症も判明されてきたように精神病ももっと色々なことがわかることを願う。
- 研究を重ねる皆様に感謝する。
- 最近の脳科学研究の成果、課題、活動内容等を一般が理解できる機会は有難い。
- 開会挨拶、基調講演は少しつまらなかったが、4名の講演は興味深かった。
- 講演3・4はわかりやすかったが、講演1・2はもっと理解したい。
- スライドが文字ばかりで、文字も小さく見にくかった。(2)
- 最先端の科学とはいえ、英語論文の図そのままの活用等、スライドが一般向けにしては難しすぎる。(2)

- ・もう少しわかりやすい資料があるとありがたい。(2)
- ・どれも40年近く前に学んでことで、取り立てて目新しいことはない。
- ・日常活動の中で取り入れたほうがいいことをもう少し簡単に紹介アピールしてほしい。
- ・専門的でわかりにくいところが多々ありもう少し噛み砕いた言葉を使ってほしかった。
- ・「土曜日にわざわざお越し頂き」という挨拶を皆がするのは無駄なので省くべき。
- ・書名など調べる方法はあるが、本人から聞きたかった。
- ・メモを取る余裕が無かったのが残念。
- ・話し方をもう少し工夫し、練習してほしい。
- ・専門的で難しいし、講演のスピードが速すぎてついていけない。
- ・夏休みなど学生が参加しやすい時期の開催がよいのでは。
- ・パワーポイントの内容をもっと工夫してほしい。時間的な経緯がわからない。
- ・講演内容、対象をもう少し絞らないとわかりにくい。(2)
- ・講演が難しい。もっと一般にわかりやすくしてほしい。
- ・研究成果が凄いことを言いたいのもかもしれないが、興味ない。グラフとかいらぬ。
- ・もう少し詳しい内容を期待しているので、分野別レベル別の参加機会があると嬉しい。
- ・もっと訊きたいことを本で確認したいので、教えてほしかった。
- ・難しい原因などより、どう対処したらよいかに時間を使ってほしい。
- ・不登校、引きこもり、いじめ、差別など社会問題への脳科学的アプローチがあるとよい
- ・生活に密着した話がほしい。
- ・若者の参加が少ないのが残念。
- ・精神疾患について社会全体で予防する重要性をもっとPRし、発症への耐性をつけることも大切ではないか。
- ・学会内での市民講座などの形で開催してもよいと思う。
- ・「脳が心を生み出す」という前提が少し違うのではないか。脳は「臓器」だから。
- ・人間の食べ物に対する欲望のコントロールは、今後必要ではないかと思う。
- ・代替医療、心身医学が欧米と比べても日本は研究の枠に入っていないように思われる。
- ・文部科学省はこんな研究にどれだけの予算を使っているのか。国民の生活やうつ病を増やさないために、政策や人間が幸福な生活を実行してくれるのが国家や公務員の役目だ。
- ・脳科学関連のマスメディアを通じた諸説の真偽を一度、見直してほしい。
- ・シンポジウムの目的は「活動」を広く市民に理解してもらうことだと思う。
- ・脳に対するの解明、脳の病気のメカニズムがわかる日が来ると信じる。
- ・あまりに学術的でびっくりした。
- ・全て理解できたわけではないが、一日でも早く様々な問題が解決するとよいと思う。
- ・今の日本の標準的レベルはこの程度かなと思った。
- ・精神疾患の治療がまだこれからといった感じが意外だった。
- ・こういった研究をさらに教育現場の活用に広げていけばよいと思う。

- ・ 社会生活の中で健康な脳を守る手立てを考えて行きたいと思った。
- ・ 研究の速度を上げるには資金の量も影響するのか。それを増やす努力はされているか。
- ・ 日本人の気質がどちらかといえばうつ病誘発型ではないか。
- ・ 普通の人が受益できるのはいつになるのだろうか？
- ・ たまたま横浜市立図書館でチラシを見てきた。
- ・ 介護体験を自分の健康に生かすことができる。
- ・ 過去に実践されてきたことを、後追いで説明されてきたという印象を受けた。

【基調講演について印象に残った／興味を持ったこと／意見など】

- ・ 印象に残った。（２）
- ・ 全体像・アプローチの概要がよく理解でき、以降の講演が聴きやすかった。（２）
- ・ 明快な言語でとてもわかりやすかった。（２）

【講演 1 について印象に残った／興味を持ったこと／意見など】

<講演内容について>

- ・ 対人関係と脳科学（７）
- ・ 遺伝的影響（一卵性双生児と二卵性双生児を使った比較研究）と環境の話（２）
- ・ オキシトシンと対人関係や女性のホルモンの関係、ストレスや不安と不妊の関係（２）
- ・ 不安を感じるメカニズム（２）
- ・ 「表情認知」から BPD と PD の違いを知ること
- ・ 結核なども遺伝の要因
- ・ サリーとアンの実験
- ・ 自閉症の対人認知
- ・ 発達障害の治療・症状改善、治療薬・対症薬の開発
- ・ 発達障害と幼少期の養育環境による遺伝子への影響、ストレス耐性
- ・ 広範性発達障害とてんかんの関連性
- ・ ADHD
- ・ GLO1 遺伝子
- ・ キャリア・カウンセリング分野での発達障害は、リファーで済むのか。
- ・ 対人関係認知と子供のネット使用の影響は？
- ・ 自閉傾向の子供の増加

<講演者・講演方法などについて>

- ・ 印象に残った。（８）
- ・ とてもわかりやすく、参考になった。（７）
- ・ 講演の内容が、自分の仕事にもシンクロしているせいもあり、とても興味深かった。

- 今後の研究成果もお聞かせいただきたいと思った。
- 実生活にも役立ちそうと思った。
- 脳の働きと心の関係の重要性が少しわかった。
- 仕事に関係しているので、興味深く聞いた。
- 図もわかりやすく理解しやすかった。

【講演2について印象に残った／興味を持ったこと／意見など】

＜講演内容について＞

- 統合失調症の症状と脳における分子メカニズム解析（４）
- 統合失調症の治療研究、そのビジョン（３）
- 治療薬や麻薬から脳の機能を解明するアプローチ
- 神経伝達におけるグリア細胞の関係
- 幼少時のショックで、事後的に15～35歳に発病するということがよいのか。
- 脳内D体アミノ酸の発見
- 環境が与える影響
- 薬物も思春期から感受すること
- 脳の器質変化が認められてきていること
- 新しい薬が出てきて、使われるようになってきているのか。

＜講演者・講演方法などについて＞

- 統合失調症の講演が印象に残った。（４）
- 忙しい発表だが、よい内容だった。
- 統合失調症の治療研究が進んでいることが理解できた。
- 統合失調症への手ごかりは、今後に期待できるのでさらに研究を進めてほしい。
- わかりやすい。
- 低→高レベルまで上手に説明されていた。

【講演3について印象に残った／興味を持ったこと／意見など】

＜講演内容について＞

- ストレスとうつ病の脳科学
- ストレスの脳への影響
- BDNF 動画
- うつの発症と回復過程
- うつ病と食生活（地中海料理・緑茶等）・栄養の関係
- 先進国でうつ、自殺者が世界トップということ

- 通電療法
- BDNFとストレスホルモン
- うつ病の栄養学問題（魚、アボカド、オリーブ等）
- 非定型うつ病の予防
- うつの発症過程、食事療法
- うつの発症予防＝認知行動療法？
- ストレスを受けた脳やストレスそのものへの対応
- ストレスを生じている生活環境はどうしたらよいのか。

<講演者・講演方法などについて>

- 功刀先生講演が印象に残った。（15）
- 活力ある生活のための10か条はとても参考になった。実践したい。（3）
- うつ病の脳内作用についての最新情報を紹介していただけでよかった。
- 先進国でうつ、自殺者が世界トップということにショックを受けた。
- テアニンの研究報告が2012年と書かれていたので、最新の事が知れたと感激した。
- 素人受けを狙いすぎか。
- 功刀先生の話が一般向けで最も楽しめた。話し方もよかった。また聞きたい。

【講演4について印象に残った／興味を持ったこと／意見など】

<講演内容について>

- 認知症と食生活、生活習慣との関係。（2）
- 今はまだアルツハイマーの治療法はなく厳しい。
- アルツハイマーの師のクレペリン

<講演者・講演方法などについて>

- 講演4が印象に残った。（7）
- 認知症のことが今までより理解できた。（2）
- これからの人生に役立てたいと思う。
- 仕事と関連があり、とても興味深い。
- 父親が認知症にならないためのサジェスチョン、とても参考になった。
- 水澤先生の話は一番よかった。
- 水澤先生の講演がわかりやすかった。
- 未来の老人が明るく死を迎えられるように、諦めないで研究を続けてほしい。
- 認知症については、1～2年前と状況が変わっていなさそうで残念。
- 興味があったので面白く聞きましたが、難しい。
- 「認知症の克服を目指して」のテーマで、治ることができる希望を期待したが…。

【体験展示について印象に残った／興味を持ったこと／意見など】

<展示全体について>

- 実際に体験できるのが、面白かった。(2)
- 展示ボードに絵などがあってわかりやすかった。
- パネルの文字が小さかった。
- 体験展示が出展者との質疑応答ができてよかった。
- 近くにいた人が「説明しましょうか？わからないことがあったら聞いて下さい。」など、とても親切にそして難しい言葉を知らない僕たち高校生にわかりやすい言葉でうまく説明してくれて嬉しかった。
- どの先生もわかりやすい言葉で教えて頂き、本を読むだけでは理解し難い点は見えたため嬉しかった。
- 展示ブースは自分の日頃の疑問点をぶつけられたので、大変よかった。
- タイムスケジュールを統一して説明などを聞けたら、よりよかった。
- 来場者へのアプローチを工夫していただけると、もっと楽しめると思う。
- 一つ一つの展示同士が近くてよいが、声が聞き取りにくかったり、人が多くて話ができなかったりして少し残念だった。
- 展示内容も興味深い、会場が狭く、各展示での個々の対応だったのでまとまりがなさ過ぎて落ち着かない感じだった。
- 一般の方と専門の方が混在していた展示ブースだったので、興味がありつつ、素通りしてしまった部署もあった。
- 多方面から脳についてアプローチをして、可能性を広げていることがわかった。展示で似通っている部分をバラバラにやっていて、連携がうまく行っている印象があまり無かった。もっと互いの研究も把握して連携できれば、効率よく研究成果は出せるのではないかな。
- 玉川学園以外のSSH高校のポスター展示への参加を。
- 研究者の方に広報の仕事は大変なのだろうなと感じた。

<展示01について>

- 朗報でした。患者の生きる希望に大きく役立っていると感じました。開発がさらに続きますよう祈ります。
- 展示1が興味深かった。(5)
- BMI装置を使って手が麻痺して全く動かない人のリハビリをする体験が面白かった。今まで諦めるしかなかったことが科学の進歩によって可能性ができる。科学は素晴らしいと思う。
- 研究が進むことを期待しています。

<展示02について>

- 人工網膜の研究が印象に残った。(5)

- ・網膜剥離の患者として、失明者への網膜移植までの前段階として、字が読める程度まで開発のレベルを上げてほしい。
- ・丁寧に説明していただきました。

<展示03について>

- ・脳を1細胞単位で測定できるテクノロジーには驚かされました。
- ・展示3が印象に残った。
- ・京大のサルの実験について、今後、とっても期待できると思います。その後が知りたいです。

<展示04について>

- ・展示4が印象に残った。(3)
- ・せっかち度チェックは、今まで聞いたこともなかったので興味深かったです。
- ・簡単なゲームをさせてもらい、興味深かった。
- ・日常生活とのつながりが深くわかりやすかった。
- ・次のステップの結果に興味を持てる。

<展示05について>

- ・展示5が印象に残った。(2)
- ・脳を透明にして深部の蛍光部位が見えたのは新鮮でした。
- ・日常生活とのつながりが深くわかりやすかった。

<展示06について>

- ・覚醒睡眠のメカニズムを示す展示物は、目で見て理解できるのでありがたかったです。
- ・展示6が印象に残った。(8)
- ・自分の睡眠をチェックできたのでよかった。
- ・日常生活とのつながりが深くわかりやすかった。
- ・わかりやすく、先生の説明も楽しかったです。
- ・三島先生のパネルと説明がわかりやすかった。

<展示07について>

- ・実際の診断・治療に早く応用されることを期待します。
- ・展示7が印象に残った(2)。
- ・興奮と抑制について。うつ病になる性格等がわかってよかった。
- ・日常生活とのつながりが深くわかりやすかった。

<展示08について>

- ・普及して、自閉症児の発見・治療が進むことを期待します。
- ・アイトラッカーが興味深かった。（3）
- ・展示8が印象に残った。
- ・早期発見、診断に期待！
- ・研究が進むことを期待しています。

<展示09について>

- ・展示9が印象に残った。（6）
- ・脳内ドパミンについて知ることができた。
- ・アクチウォッチでどのような解析結果が出るのか、興味深かったです。
- ・ドパミン神経について興味があり、勉強していたところであったため、興味深かった。
- ・脳内ドパミン神経回路網の重要性についての、女性の説明者の方が立派でした。
- ・実際の診断・治療に早く応用されることを期待します。

<展示10について>

- ・展示10が印象に残った。
- ・アルツハイマー診断マーカーが印象に残った。（2）
- ・実際の診断・治療に早く応用されることを期待します。

<展示11について>

- ・視覚的な刺激からの脳波を信号にして、体の動作を手助けしてくれるロボットスーツが印象に残った。
- ・BMIやロボットスーツの技術はここまで進んでいるのかと感動しました、

<展示12について>

- ・今の社会を大きく変えうる可能性がたくさん詰まっていて、その実現が希望になるのではと思いました。

<高校生展示について>

- ・高校生のザリガニの研究が興味深かった。
- ・ハイレベルの研究に驚愕しました。
- ・実験途上とはいえ、若さに期待します！
- ・高校生の展示は良いですね。理系離れの最近ですが、このように学生の意識を高めるイベントはどんどん行って下さい。